

日语语法教程

吴侃 编著

同济大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

日语语法教程/吴侃编著. —上海: 同济大学出版社,
2000. 12

ISBN 7-5608-2218-5

I. 日… II. 吴… III. 日语-语法-高等学校-教材 IV. H364

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2000)第 75153 号

日语语法教程

作者 吴侃

责任编辑 封云 责任校对 郁峰 装帧设计 潘向葵

出版
发行 同济大学出版社

(上海四平路 1239 号 邮编 200092 电话 021-65985622)

经销 全国各地新华书店

印刷 丹阳教育印刷厂印刷

开本 850mm×1168mm 1/32

印张 6.5

字数 188 500

版次 2000 年 12 月第 1 版 2002 年 8 月第 3 次印刷

书号 ISBN 7-5608-2218-5/H·282

定价 9.50 元

本书若有印装质量问题, 请向本社发行部调换

前 言

本书是以大学本科日语专业三年级学生为对象的语法教材。为避免重复,本书只集中讲述在精读课通常不详细讲解的一些问题。日语语法中的重要基础内容,如助词、助动词等则尽量全面收入,给学生提供一个集中复习的材料,而对于较易理解且与精读课重复的内容则一律略去。

本书尽量反映近年来最新的研究成果,但有关理论问题,例如助词的认定、分类等,均不作探讨。此外,从我国日语学习者容易理解和掌握的角度出发,本书基本上采取以词法为主的讲解法,根据需要也会突破词法的限制,涉及一些句法的内容,还包含一部分“表达”的内容。

本书分为基础篇、专题篇、辨析篇和表达篇等四部分。

本书作为教材已用过三轮,是在教学过程中逐步形成并几经修改充实而成的。书中如有不当之处,恳望使用者批评指正。

吴 侃

2000年9月

目 录

基础篇

第1讲 助词(1) 格助词	(1)
1.1 が	(1)
1.2 を	(3)
1.3 に	(5)
1.4 へ	(8)
1.5 の	(9)
1.6 と	(11)
1.7 で	(13)
1.8 より	(15)
1.9 から	(16)
1.10 まで	(18)
1.11 て(って)	(19)
第2讲 助词(2) 副助词	(20)
2.1 まで	(20)
2.2 など(なんと、なぜ、なんぞ、なんか)	(21)
2.3 なんて	(22)
2.4 やら	(23)
2.5 か	(24)
2.6 だけ	(24)
2.7 ばかり(ばかり、ばかり、ばかり)	(26)

2.8	ほど	(28)
2.9	くらい(ぐらい)	(29)
2.10	ずつ	(30)
2.11	きり(ぎり、つきり)	(31)
2.12	ばかりか	(31)
2.13	どころか	(32)
2.14	ぞ	(32)
2.15	とも	(33)
第3讲 助词(3) 提示助词 (34)		
3.1	は	(34)
3.2	も	(36)
3.3	こそ	(39)
3.4	さえ	(40)
3.5	でも	(40)
3.6	しか	(42)
3.7	って	(43)
3.8	だって	(43)
3.9	ってば	(44)
3.10	ったら	(44)
3.11	なら	(45)
3.12	なんて	(45)
3.13	とて	(45)
第4讲 助词(4) 接续助词 (47)		
4.1	て(で)	(47)
4.2	ながら	(48)
4.3	つつ	(49)
4.4	し	(50)
4.5	ので(んで)	(51)

4.6	から	(51)
4.7	のに	(52)
4.8	くせに(くせして)	(52)
4.9	に	(53)
4.10	けれども(けれど、けども、けど)	(53)
4.11	が	(54)
4.12	ば	(56)
4.13	と	(59)
4.14	たら	(61)
4.15	なら	(63)
4.16	ても(でも)	(65)
4.17	ては(では)	(66)
4.18	とも	(67)
4.19	ものの	(68)
4.20	ものを	(69)
4.21	たって(だって)	(69)
4.22	ところ	(70)
4.23	ところが	(71)
4.24	ところで	(71)
4.25	なり	(72)
4.26	とて	(72)
第5讲 助词(5) 并列助词		(74)
5.1	と	(74)
5.2	や	(74)
5.3	やら	(75)
5.4	に	(75)
5.5	か	(75)
5.6	なり(なりと)	(76)

5.7	だの	(77)
5.8	とか	(77)
5.9	の	(78)
5.10	たり(だり)	(78)
第6讲	助词(6) 终助词	(80)
6.1	ね(ねえ)	(80)
6.2	よ(よう)	(81)
6.3	ぞ	(83)
6.4	ぜ	(83)
6.5	わ	(84)
6.6	とも	(84)
6.7	もの	(85)
6.8	か	(85)
6.9	かしら	(87)
6.10	な(なあ)	(87)
6.11	さ	(89)
6.12	や	(89)
6.13	い	(90)
6.14	わい	(91)
6.15	つけ	(91)
6.16	て(で)	(92)
6.17	って	(92)
6.18	ってば	(93)
6.19	ったら(たら)	(93)
6.20	だって	(94)
6.21	こと	(94)
6.22	の	(95)
6.23	なんて	(96)

第7讲 助动词	(97)
7.1 れる、られる	(97)
7.2 せる、させる、しめる	(100)
7.3 た(だ)	(101)
7.4 ます	(102)
7.5 たい・たがる	(103)
7.6 ない・ぬ(ん)	(104)
7.7 らしい	(106)
7.8 う・よう・まい	(106)
7.9 ようだ・みたいだ・ごとし	(110)
7.10 そうだ(様態)	(113)
7.11 そうだ(伝聞)(という、ということだ、とのことだ)	(114)
7.12 だ、です	(115)
7.13 のだ	(116)

专题篇

第8讲 敬语	(118)
8.1 敬语和敬语意识	(119)
8.1.1 敬语及敬语的使用条件	(119)
8.1.2 敬语体现了说话者的教养水平	(120)
8.1.3 敬语具有文明语言的特性	(121)
8.1.4 敬语使用上的简明原则	(122)
8.2 敬语的种类	(123)
8.2.1 语言表达	(123)
8.2.2 非语言手段	(129)
8.3 敬语的作用	(131)
8.4 敬语的使用	(134)

第9讲	授受关系	(138)
9.1	授受动词作为普通动词的用法	(138)
9.2	授受动词作为补助动词的用法	(139)
9.3	使役态+授受关系	(139)
9.4	授受关系+命令形	(140)
第10讲	感情形容词	(142)
第11讲	时态	(145)
11.1	日语时态表达的特征	(145)
11.2	现在时的意义及用法	(147)
11.3	过去时的意义及用法	(150)
11.4	「～ている」的意义及用法	(152)
11.5	主句的时态和修饰句的时态	(155)

辨析篇

第12讲	「は」和「が」的区别	(159)
12.1	表示主题的「は」的特点	(159)
12.2	表示对比的「は」的特点	(162)
12.3	表示叙述的「が」的特点	(165)
12.4	表示排他的「が」的特点	(167)
12.5	「は」、「が」的区别与中文的对应	(168)
第13讲	条件形的区别	(171)
13.1	「ば」的特点	(171)
13.2	「たら」的特点	(172)
13.3	「なら」的特点	(173)
13.4	「と」的特点	(174)
13.5	其他的表达条件的说法	(175)

表达篇

- 第 14 讲 委婉表达 (176)
- 第 15 讲 语感 (182)
 - 15.1 语感的社会性 (182)
 - 15.2 语感的种类 (184)
 - 15.3 日本社会共同心理的体现 (188)

基础篇

第1讲 助词(1) 格助词

日语属粘着语(膠着語=こうちゃくご)系,其语法上的最大特点就是通过一些词(附属词)的“粘着”来表达种种语法意义。粘着的词主要有助词和助动词。词序也起一定的、有时是重要的作用,但与助词、助动词相比,应该说,助词、助动词的作用才是决定性的。

- 明日雨が降らなければ、本を買いに町に出たいと思います
す/明天如果不下雨的话,我想上街买书。

这个句子中就用了「が、ば、を、に、に、と」等助词和「なければ(ない)、たい、ます」等助动词。

助词根据其功能、意义、接续等分为格助词、副助词、提示助词、接续助词、并列助词和终助词。

格助词(格助詞=かくじょし)表达其所附的词与其他词的语法关系。原则上接在名词或其他助词后面。格助词共有11个。

1.1 が

「が」接在名词或其他助词后面,表达下列意义。

- 1) 表示主语。

- 花が咲く。
- 雨が降る。
- 車が角を曲がる。
- 森の緑が美しい。
- 波が静かだ。
- 川の向こうに山がある。
- これからが大変だ。

2) 表示对象语。与这一「が」相搭配的主要有下面一些词：表示能力的形容词、形容动词，如「上手、下手、苦手、得意、うまい」等；表示感觉或内在感情的形容词、形容动词，如「好き、嫌い、痛い、恋しい、嬉しい、ほしい、こわい」等；表示愿望的「動詞＋たい」；表示可能的动词，如「できる、～れる、～られる」等；不因自己意志而变的感觉动词，如「分かる、聞こえる、見える」等；表示所有、需要的动词，如「ある、要る」等。

- 日本語が上手だ。
- 数学が苦手だ。
- 頭が痛い。
- 母が恋しい。
- 水がほしい。
- お化けがこわい。
- ゆっくり本が読みたい。
- 運転ができる。
- 日本語が話せる。
- 話し声が聞こえる。
- 窓から山が見える。
- 私は弟が二人ある。

3) 表示连体格，即相当于「の」，接在体言或活用词的连体形后，是文言语法残留于现代语中的用法，只用于文章中。

- 眠るがごとく亡くなった。
- 思うが故に悩みあり。
- バラは美しいが故に摘まれる運命にある。

其中有一部分已变成固定用法,通常看作是某一单词的一部分。

- 我が国(わがくに)
- 梅が香(うめがか)
- 君が代(きみがよ)

惯用句型

① …がよい(いい)/表示允许、劝告、放任等意,“可以……;最好……;(做)……好了”。

- 疲れたら、休むがいい。
- 年寄りの忠言は聞くがよい。
- どうとも勝手にするがいい。

② …が早いか…/刚刚……就……。

- 起きるが早いか出かけた。
- 席につくが早いか発言を求める。

1.2 を

「を」接在体言后,表示下列意义。

1) 表示宾语,通常与后面的他动词搭配使用。

- 日本語を話す。
- 本を読む。
- 先生を尊敬する。
- 計画を立てる。
- 悪事を働く。

2) 表示使役対象。

- 子供を一人で遊ばせる。
- 私たちの贈り物が老人たちを喜ばせた。

3) 表示移动动作的出发点或经由点,也可用于表示所经过的时间上的一点或经过的时间。

- 日本を離れる。
- 車を降りる。
- 家を出る。
- 角を曲がる。
- デパートの前を通る。
- 空を飛ぶ。
- 公園を散歩する。
- 雨の中を走る。
- 正午を回った。
- 会議が始まって三十分を経過した。

惯用句型

① …を…とする/把……作为……;把……当作……;以……为……。

- 六十点以上を合格とする。
- これで終わったとして、次の仕事に変わる。

② …を…にする/把……变成……;以……为……。

- まず、温度を下げて、水を氷にしてから実験にとりかかる。
- 彼を代表にする。
- 赤旗を先頭に(して)デモ行進する。

③ …を以(も)って/以……;用……。

- 書面を以って通知する。

- これを以って証明する。

1.3 に

「に」接在体言或其他助词后,部分用法接在动词连用形后,表示下列意义。

- 1) 表示静态存在的场所,包括抽象“存在”的场所。
 - 机の上に本がある。
 - 木の上に小鳥がいる。
 - 大阪に住んでいる。
 - 本棚に本が並べてある。
 - 車は建物の前に止まっている。
 - 商事会社に勤めている。
 - それぞれの立場に立って発言する。
 - 壁に絵をかける。
 - 髪に飾る。
 - 並木の道に雨が降る。
 - 庭に木を植える。
 - 本にもいろいろあって、無益なものも少なくない。
- 2) 表示移动动作的到达点。
 - アメリカに行く。
 - 電車がホームに到着する。
 - 夜になってやっと頂上についた。
 - 部屋に入る。
 - 後ろに下がる。
- 3) 表示变化的结果。
 - 信号が赤に変わる。
 - 卒業したら弁護士になりたい。

- 子供を医者に育てる。
 - 取材した内容をレポートに書き上げる。
- 4) 表示动作等的对象,包括使役动作的对象。

- 駅前ではったり友達に会った。
- 君にだけ話す。
- 神に誓う。
- 誕生日を迎えた友達に花束をあげる。
- 彼にやらせよう。
- 子供に新聞を読ませる。
- 子犬に手をなめさせる。

5) 表示时间上的一点。

- 六時に起きる。
- 夏休みに遊びに行く。
- 雪は翌日の朝に消えていた。

6) 表示移动动作的目的。除接在体言后外,还接在动词连用形及サ变动词词干后。

- 映画を見に行く。
- 医者を呼びにやる。
- 忘れ物を取りに戻る。
- 昼は食事に帰る。
- 不動産の勉強に日本へ行く。

7) 表示可能、尊敬等的动作主体,包括被动动作的动作主体。

其中,尊敬的主体通常用「には」的形式。

- その問題は私にはできません。
- そのクイズは彼にも分からなかった。
- ご家族の皆様にはお元気でいらっしゃいますか。
- 先生にしかられる。
- 一晩中子供に泣かれる。

- ピクニックに行つて雨に降られた。
- 8) 表示原因。
- 不況に苦しむ。
 - 雨に濡れる。
 - 酒に酔う。
 - 嬉しさに泣き出す。
- 9) 表示动作的起源。有时可换成「から」。
- 自動車問題に始まる貿易摩擦。
 - 母に教わる。
 - 君に聞いた話。
- 10) 表示比较的标准,以及比较、评价的对象。
- AはBに等しい。
 - 父に似たおもかげ。
 - 昨年と同じ暑さ。
 - 理想に遠い現実。
 - 先週に倍する人出。
 - 専門家にも劣らぬ腕前。
 - 寒さに弱い。
 - 健康に有害だ。
 - 魅力に乏しい。
- 11) 表示比率的基准。
- 三日に一度通う。
 - タバコを一日に十本吸う。
 - 万に一つ。
- 12) 表示有某种感觉时的、感觉的身体部位。
- 夜風が頬に冷たい。
 - タバコの煙が眼に痛い。
 - 寒さが骨身にこたえる。